



国民の森林・国有林

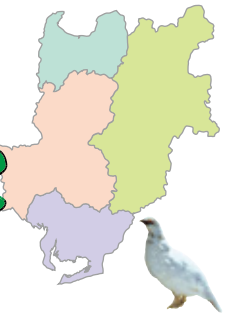
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



2月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



2月の見どころ聴きどころ⑤ー奈良井宿アイスクヤンドル祭り（ペンネーム 八二七さんからの投稿）

主な項目	○ 本局のトピックス（林野庁「国有林間伐・再造林推進コンクール」で最優秀賞を受賞ほか）	P 1
	○ 各地からのたより（岐阜署で豚コレラ対策へ協力ほか）	P 6
	○ シリーズ「ご当地自慢」（東濃森林管理署 苗木城跡）	P 9
	森林でのお仕事紹介コーナー	
	☆「森林官からの便り」（七宗森林事務所）	P 10
	☆「森林・林業界からの便り」（有限会社 愛宝産業）	P 11
	☆「林業土木業界からの便り」（奥田工業 株式会社）	P 12
○ 3月の見どころ聴きどころ	P 13	

〈本局のトピックス〉

林野庁「国有林間伐・再造林推進
コンクール」で最優秀賞を受賞

【資源活用課】

林野庁において毎年実施されている「国有林間伐・再造林推進コンクール」の搬出間伐部門において、中部局から推薦した有株式会社金山林業が「林野庁長官最優秀賞」を受賞し、一月二十四日、林野庁において行われた表彰式において牧元長官から表彰状が授与されました。

金山林業は、昨年度の、生産性向上実現プログラムの取組において「中部森林管理局局長最優秀賞」を受賞しており、今回、高い生産性と間伐の推進に寄与することが大きいと認められたものです。

なお、中部森林管理局管内の事業者が、このコンクールで最優秀



牧元林野庁長官（右）と金山林業金山取締役（左）



現場作業の様子

賞を受賞するのは十六年ぶりとなります。

金山林業の取組については、一月二十九・三十日に行

われた「中部森林技術交流発表会」の特別発表として、同社の石井良典さんから「生産（材）の流れを止めない作業仕組みによる生産性の向上」と題して発表いただきました。

発表を前に、同社金山取締役が石井さんとともに宮澤局長を訪れ、長官賞受賞の報告、受賞の感想や今後に向けての意気込みなどを話されました。

取組事例の概要については、以下の林野庁ホームページに他の部門の優秀賞も含め紹介されています。

<http://www.rinyamaf.go.jp/j/>

gyounu/hanbai/

kanbatusuisinn

konkuruh.html



外来種や獣害対策、

被害を拡大させないことが必要

【計画課】

二月十二日、中部森林管理局大会議室において、管内における保護林の設定、変更、廃止、管理及びモニタリング等に関する事項、並びに保護林に関連する生物多様性の保全についての検討を行う「平成三十年第二回保護林管理委員会」を開催しました。

議事の保護林モニタリング調査結果の概要報告では、宮・庄川森林計画区内の十三箇所を保護林を対象にモニタリング調査を行った結果、登山者の入り組みによるセイウタンポポ、シロツメクサ等の侵入や、ニホンジカ及びツキノワグマによる樹木への剥皮被害や周辺でのシカ等の食痕が確認された旨の報告がありました。

報告を受け、委員会では、①外来種②獣害被害③その他の項目に分けて検討を行いました。

事務局からは、保護林周辺で行われている、外来種の駆除活動や獣害対策についての取組を説明



外来種対策について意見を交わしている様子
(右側から、西條委員、竹中委員、由井委員)

し、委員からは、本年度の調査箇所では、深刻といえる程の外来種及び獣害被害等の報告はなかったが現状での被害を拡大させないことが必要、などの意見がありました。今後は、委員会の意見を元に「平成三十年度宮・庄川森林計画区保護林モニタリング現地調査報告書」に反映させていくこととしています。

〈本局のトピックス〉

「ブランド材を用いた新たな 洋風パーティションコンペ」 受賞作品展「示会の開催

【資源活用課】

今年度の新たな取組として実施した「ブランド材を用いた新たな洋風パーティションのデザインコンペ」については、地元長野県をはじめ、関東から九州、遠くは海外在住の方から、五十一点の応募があり、高校生からデザイナー、一級建築士など幅広い分野の方による独創性あふれる素晴らしいデザインをいただきました。

その後、厳正なる審査の結果、受賞作品を決定し、そのうち、グランプリを受賞した「Kagerou（馬場英実さん）」、準グランプリの「Mountain range（矢島章亜さん）」及び「スキマで遊ぶパーティション（北條雅治さん）」、アパルトマンション部門入選の「Tail（坂根和昭さん）」の四作品について実際に制作し、JR長野駅に直結するMIDORI長野りんごのひろばにおいて、展示会を開催しています。



多くの人で賑わいを見せた展示会

展示作品の詳細はこちらから。

<http://www.rinyamaaff.go.jp/chubu/apply/publicsale/hanbai/p-compentenzikai.html>



初日となった二月二十四日

（日）は、多くの買い物客や関係者が立ち会う中、除幕式を行いました。

見学された方からは、「木材はいいね」、「木の良さが伝わってくる」といった感想が聞かれました。

展示会は、三月二日（土）まで開催していますので是非訪れてみてください。

中部森林技術交流発表会を開催

【技術普及課】

一月二十九日、三十日の二日間にかけ、中部森林管理局大会議室において「平成三十年中部森林技術交流発表会」を開催しました。

今年度は、国有林関係から十七課題、民有林・学校関係等から十六課題の計三十三課題と、過去最多課題数の発表がありました。

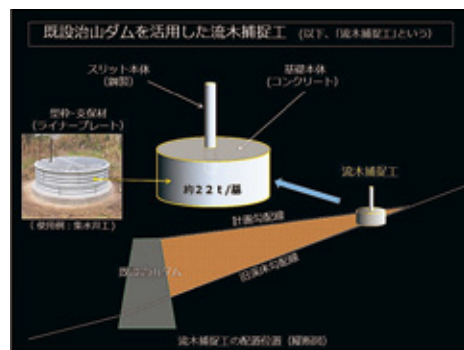
発表では、「森林技術」、「森林保全」、「森林ふれあい」の各部門において、UAV等の先端技術を用いた技術開発や数十年にも及ぶ調査の成果、近年深刻な被害をもたらしている山地災害や二ホンジカへの対策の取組成果、技術開発等多岐にわたる様々な発表が行われました。

国有林部門では、東濃森林管理署等から、既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発についての発表がありました。豪雨災害時に問題となっている流木被害を、低コストで対策できる注目を集めました。

月別	参加人数	メス	オス	計	備考
8月	13人	3頭	1頭	4頭	
9月	76人	54頭	7頭	61頭	イノシシ 1頭
10月	63人	62頭	21頭	83頭	イノシシ 1頭
11月	14人	8頭	2頭	10頭	
計	166人	127頭	31頭	158頭	

期間内の二ホンジカ捕獲頭数
(南信森林管理署ほか)

また、二ホンジカ対策としては、南信森林管理署ほか三者により合意された「ついで見回り・通報」の発表がありました。効率的な捕獲が実現できたことから、新たな二ホンジカ対策として期待が高まりました。



流木捕捉工の配置位置の縦断面図
(東濃森林管理署ほか)

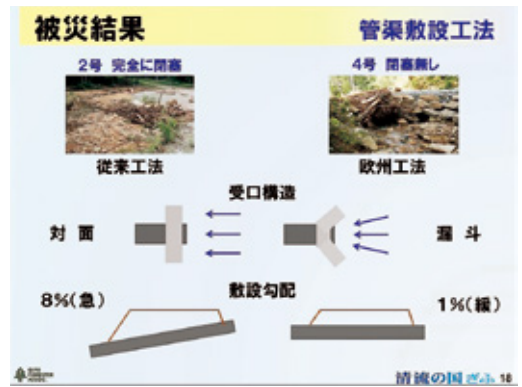
木曽森林管理署からは、国内外の人々に国有林の魅力を発信するため、Google ストリートビューを活用した取組が発表されました。情報発信だけでなく、傷病者等の現地に行くことが困難な方への自然体験として、活用できることも検討されました。



撮影機材を背負っての撮影作業
(木曽森林管理署)

民有林部門では、岐阜県フォレスト協会から、昨年七月の豪雨の被災結果を基に、屋根型構造の道や欧州式の管渠が水害に強いことが示され、今後増加すると予測される水害への対策の一つとして提案されました。

また、富山県森林研究所からは、里山の利用促進のために検討した、カワラタケの栽培方法と簡



7. 7 豪雨の被災結果の比較
(岐阜県フォレスト協会)

易な種駒作成方法が発表されました。

誰でも簡単に作成でき、他のキノコにも応用できることがアピールされました。

楊枝種駒使用ホダ木からの発生の様子



ホダ木から発生したカワラタケ
(富山県森林研究所)

学生部門では、岐阜県立飛騨高山高等学校が、フォレストの指導の下、育成木施業を実施し、生産した木材を重要文化財の修繕等に活用する、持続可能な森林経営を目指した取組が注目を集めました。



育成木施業の今後の計画について
(岐阜県立飛騨高山高等学校)

一日目の発表終了後には、信州大学農学部岡野哲郎教授から国有林部門について、二日目は名古屋大学大学院生命農学研究科田中隆文准教授から民有林・学生部門についての講評をいただきました。発表会には、二日間で発表者・聴講者等を含め延べ三五〇名を超える参加があり、たいへん盛大な開催となりました。

中部森林管理局では、引き続き地域や時代の要請に応じた事業や技術開発に取り組むとともに、研究機関、学校、林業事業者など関係機関や地域との連携を深め、森林・林業技術の更なる推進と普及に取り組みます。



受賞者と審査関係者で記念写真

詳細につきましては、中部森林管理局のホームページをご覧ください。

(<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/fukyuu/kouryuhappyoukai/h30/kekkahtml>)



平成30年度中部森林技術交流発表会 入賞課題一覧表 国有林の部

◎局長賞 優秀賞

番号	課 題 名	所 属	氏 名
5	樹齢170年を超えたヒノキ人工林の動態～赤沼田天保林の調査報告～	森林技術・支援センター	三村 晴彦
6	既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発 ～流木災害防止緊急治山対策プロジェクト～	東濃署	菅野 暢晃
		中部局	中澤 敏雄
		中信署	宗廣 克徳
16	南信森林管理署における「ついで見回り・通報」の取組について	南信署	渡邊 修 有永 心
		上伊那猟友会	竹入 正一
		宮下建設	新井 伸弘
19	googleストリートビューを活用した国有林利用の推進	木曽署	池端久美子 古澤 博

◎局長賞 努力賞

番号	課 題 名	所 属	氏 名
1	地域要望を踏まえた野々海川水源地域整備工事への取組み	北信署	中屋 忍
			諸見里穂高
2	民国の事業連携に向けた情報共有	木曽署	久保 喬之 三宅 悠平
3	ブナ二次林の密度管理について	富山署	日向 秀司 村中 健彦
4	助六実験林70%漸伐試験地のヒノキ天然更新について ～20年間の調査データから～	ふれセン	黒田 誠
		木曽署	早川 幸治
7	銅板セル谷止工の施工について	飛騨署	向澤 大樹
8	山腹崩壊地内に露出する粘土鉱物が及ぼす下流への 影響について（調査計画）	岐阜署	植松 裕太
		中部森林技術 コンサルタンツ	兼松 和重 児波 昌則
9	OWL（3Dレーザースキャナー）についての考察 ～森林資源調査のための実用と応用の検証～	富山署	山尾 真生 米澤 義則
10	ヒノキコンテナ苗の秋植植栽による生長量調査等の一考察について ～民国連携～	東濃署	江崎 陽介
		恵那農林事務所	多賀 幸
11	D材販売と造林コストの低減	南木曽支署	依田 直紀 大橋 孝宏 杉村 智春
14	カラマツ種子の安定供給に向けた取組 ～清万採種園の整備～	東信署	加東 良彬 島田 純樹
15	クマの錯誤捕獲を防止するニホンジカの捕獲方法について	やまびこ	加藤 尚
		中信署	谷澤 恭子
17	ニホンジカ「ついで捕獲、見回り」に取り組んで ～職員負担の軽減につながるか～	岐阜署	今井 琢磨
18	小型無人航空機（UAV）を活用した防護柵保全とシカ捕獲の試み	森山環境科学研究所	森山 誠
		愛知県森林 林業技術センター	石田 朗
		愛知所	埴岡 千尋

平成30年度中部森林技術交流発表会 入賞課題一覧表 民有林・学生の部

◎審査員特別賞

番号	課 題 名	所 属	氏 名
26	屋根型道づくり 7.7 豪雨の被災状況と課題	岐阜県フォレスター協会	中谷 和司

◎審査員特別賞 学生の部

番号	課 題 名	所 属	氏 名
30	環境性と経済性が安定して恒続する森林を目指して ～育成木の選木方法の検討～	岐阜県立飛騨高山高等学校	吉川 裕示 中斎 秀友

◎森林・林業振興賞

番号	課 題 名	所 属	氏 名
20	列状間伐がヒノキ人工林の植生回復と 表土流亡の抑止に及ぼす影響	岐阜県森林研究所	渡邊 仁志
		森林技術・支援センター	三村 晴彦 堤 隆博
		富山署	千村 知博
21	1.5 年生ヒノキ・コンテナ苗の植栽後の成長	岐阜県森林研究所	茂木 靖和 渡邊 仁志
		森林技術・支援センター	三村 晴彦
24	機械賃料の見積りと張付け方式による 機械経費の積算について ～現場発生木材をチップ化する作業に係る費用の計算例～	長野県佐久地域振興局	関 憲一郎
26	屋根型道づくり 7.7 豪雨の被災状況と課題	岐阜県フォレスター協会	中谷 和司
27	里山における機能性きのこカワラタケの栽培技術の開発	富山県農林水産総合技術センター 森林研究所	佐々木 史
29	岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムの取り組み ～所有者自らが取り組む森林獣害対策を目指して～	岐阜県立森林文化アカデミー	和田 敏

◎奨励賞

番号	課 題 名	所 属	氏 名
12	チェーンソー技術マニュアル ～伐倒編～	長野県林業大学校	一宮 遼 鳥崎 公輝
13	「観光林園（仮）」による試験的な木曽地域の活性化	長野県林業大学校	青柳 大輝
22	UAVによる間伐施業評価法の開発	名古屋大学	成田 周平
23	航空機LiDARによる簡易林相区分評価法の開発	名古屋大学	岩附 慶大
25	苗木生産現場での作業体験と業者への聞き取り調査に 基づく、苗木生産の事業化シミュレーション	岐阜県立森林文化アカデミー	木下 正基
28	猟友会の新規狩猟者定着施策の問題点 ～長野県上伊那地域を事例として～	信州大学	小林 暁子
30	環境性と経済性が安定して恒続する森林を目指して ～育成木の選木方法の検討～	岐阜県立飛騨高山高等学校	吉川 裕示 中斎 秀友
31	廃材を利用した森林活用 ～箸づくりを通して森林の役割や大切さの啓発～	長野県下高井農林高等学校	長谷川大貴 高橋 優太 佐々木慎吾
32	全国の林業大学校における人材育成の比較	信州大学	原田 健司
33	林業大学校における入学試験の種類による 学生生活に対する考えの違い	名古屋大学	小川 高広

〈各地からのたより〉

緊急対策「豚コレラウイルス 拡散防止」への協力

【岐阜森林管理署】

昨年九月、岐阜市内の養豚場で感染が確認された家畜伝染病豚コレラは、その後各方面へ拡散し、養豚業者のみならず、関係機関では日々対応に追われています。

そのような中、岐阜県、関係市町村では「豚コレラウイルス拡散防止」について様々な対策を講じており、岐阜署も協力を行っています。

まず、被害の拡大に対応して岐阜県では野生のイノシシがウイルスを拡散させることを防ぐため、イノシシの移動防止柵を急遽、設置することになりました。この設

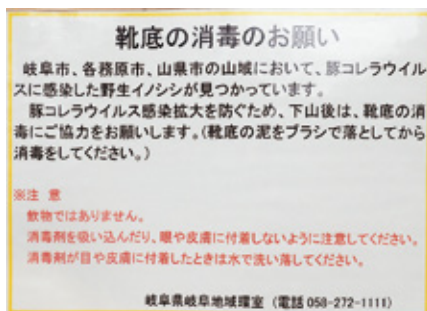


設置した野生イノシシ移動防止柵
(古城山沿い)

置にあたっては、美濃市の古城山国有林の一部も対象となり、年末・年始の慌ただしい中、県や美濃市の関係者と現地立ち会い等を行い迅速に対応しました。

また、岐阜市内の金華山国有林では、多くの登山者が訪れるため、その登山者が野生イノシシ由来のウイルスを拡散させてしまうことが危惧されました。そのため、岐阜県から下山時の消毒に関する相談を受けました。県の担当者と現地で打合せを行い、登山口にある看板に注意喚起の案内板と消毒剤などを設置することになりました。

豚コレラに関しては、引き続き関係機関と連携を密にし、必要な対策に取り組みます。



登山者へ消毒のお願い案内板

スキー場の安全対策

パトロールに参加

【北信森林管理署】

当署管内には、三十六のスキー場があり、昨シーズンは二百六十一万人が利用しています。

スキー場利用者の安全を確保するために、「北信地区スキー場安全対策協議会」と、「長野広域地区観光客安全対策連絡会議」により、毎年、パトロールを実施しています。多くのスキー場が国有林にあることからこのパトロールに当署も参加しています。

今年度は、一月十日から三十一日まで実施し、当署からは、スキーのエキスパート五名が参加し、国、県、市町村、パトロール員やスキークラブ、学校や遭対協等のメンバーとともにパトロール



志賀高原18スキー場
での状況確認

を行いました。

主なところでは、「斑尾」では、深雪コブなど、三十一コースすべてを、「竜王」では、上級者用の深雪コースを、「野沢温泉」では滑走レベルに分かれ緩斜面から上級コースまでを実施するなど、多くのスキー場で実施しました。

パトロールは、スキー場パトロール員の先導でコースを滑走しながら、規制ロープやネット、標識類などの状況を確認し、質疑、講評を行いました。

講評では、「リフトに枝が当たっている」、「積雪が少ないため国有林の境界見出標を移動させたい」などの報告があり、早急に対応することを事業者に伝えました。

今後も、本パトロールを通じ、より安全で快適なスキー場の管理運営に協力し、地域の活性化に貢献できるように努めていきます。



斑尾高原スキー場

〈各地からのたより〉

保育園児が職場を訪問

【東信森林管理署】

十二月二十七日、地元の臼田保育園の園児二十六名が当署を訪問し、かわいい歌声を響かせました。園児の訪問は例年恒例となっており今回で十五回目となります。以前はいくつかの官庁を廻っていたようですが、今は当署のみとのことです。

まずは事務室で仕事風景を見学。森林ふれあい担当が判りやすく仕事の内容を説明しました。



園児が、かわいいダンスを披露

続いて会

議室で、園児が「一〇〇% 勇気」、「世界じゅうの子供達が」、「十二支のうち」の三曲に合わせ、かわいい歌声と

ダンスを披露してくれました。また、「山で伐った木は、その

後どうなるのですか」、「大きな太

い木は、どうやって伐るのですか」など事前には園児から出されていた質問に対し、森林ふれあい担当が写真等を使って説明しました。飛び入りで「山猫は見たことがありますか」という質問が出て職員を悩ませました。最後に、当署で準備した白樺のコースターに思い思いの絵を描くなど、木とのふれあいを体験してもらいました。

園児から、折り紙をちぎって作ったイノシシのポスターのプレゼントをいただき、事務室入口に飾りました。

当署では十二月を迎えると、この臼田保育園を含め、地元の二保育園に森林整備の際に伐った木をクリスマスツリーとしてプレゼント



園児からのプレゼント

しています。

園児に「やま」の魅力を伝えられる大切な機会と捉え、今後も実施していきます。

生産性向上実現

プロジェクト(PJ)

四年目も続けて開催

【愛知森林管理所】

二月四日に、生産性向上実現PJ、A会議を愛知森林管理事務所において開催しました。

会議にはP会議以降出席いただいた県、市町村、林業事業者など約三十六名が参加しました。

このA会議は、事業終了後の実行結果集約、日報の最終分析等を行い、改善内容の検討を行うことで作業システム等を検討して生産性向上を図っていくことを目的としています。



生産性向上PJ、A会議の様子

今年度から、実行事業者以外の林業事業者もP会議から参加していることが特記すべき取り組みです。参加事業者は、このプロジェクトに感化され、自社が実行する事業でP(計画)・D(実行)・C(評価)・A(改善)を回す工夫がされるようになりました。

今年度、生産性向上実現PJ四年目を迎える新城森林組合は、同一班での事業実行で定性・列状間伐の両作業があつたにも関わらず、昨年度を大きく上回る十・三四立方^m/人・日(平成二十九年八・一八立方^m/人・日、列状間伐のみ)の生産性を達成しました。

A会議内での質疑では事業者、県等から活発な意見が出され、その他にも国土防災技術(株)より「ドローンによる単木抽出と精度検証」の報告など産官学が有意義な意見交換を行いました。

今年で四年目を迎える本PJですが、国有林のフィールドを活用し、民有林へ技術の伝道を進め循環型林業へ資する取組を進めていきたいと考えています。

飛騨市の広葉樹のまちづくり セミナーを紹介

【飛騨森林管理署】

広葉樹のまちづくりセミナーは、飛騨市の豊かな森林資源に新しい価値を提案することを目的として飛騨市が開催しているものです。

森林に係わる様々な分野で活躍されている講師を招き『アウトドアと森林の価値』『森と人をつなぐ仕事』などのテーマについて講演されています。

六回目となる今回は、二月六日、里山保全組織猪鹿庁のセミ



セミナーで講演する興膳健太氏

ナーは興膳健太氏より『狩猟にまつわる現状と課題、そしてその可能性』について講演されました。

興膳氏は、山がよくならないと動物が育たないし、田舎に人がいっばいいれば獣害もなくなる。人を入れることが獣害につながる。と考えて取り組んでいます。

具体的には、都会では、「クラウドハンター」など都会にいても狩猟に参加できる機会の創出、ジビエの価値を高める「日本猪祭り」開催など、獣害を獣害に変える画期的な取組をご紹介いただきました。

また、会場では、ジビエが振る舞われ、参加者は、調理方法にも興味津々でした。



会場で振る舞われたシカ肉

このような『広葉樹のまちづくりセミナー』は、森林を題材としたまちづくりの可能性を探るよい機会であり、今後とも注目していきたいと思えます。

南木曽支署新庁舎落成式を開催

【南木曽支署】

旧庁舎敷に建替を進めていた、木曽森林管理署南木曽支署の新庁舎が、この程完成し二月二十日落成式を行いました。



南木曽支署新庁舎

新庁舎は、木造二階建、延べ床面積四五八平方メートル、外観は妻籠宿の街並みをモチーフとし、内装には、地元銘木「木曽ひのき」を使用、会議室はカラマツ集成材によるトラス構造としました。また、構造材にはJAS無垢製材品、土台や下地材等見えないうところにも国産材をふんだんに使用す



木質ペレットボイラー



ペレット燃料

るとともに、地球温暖化防止に寄与する木質ペレットボイラーを導入しています。
落成式では、地元町村長等のお祝いの言葉を頂戴するとともに、局長から庁舎建設に当たった関係者に感謝状を贈呈したほか、支署長が、森林整備事業・治山事業の推進を誓い、記念撮影をして終了しました。





苗木城跡の全景

岐阜県中津川市苗木にあり、木曾川右岸四百三十二メートルの高所に築かれた苗木城跡（国指定史跡）を紹介します。

この城跡は、平成二十九年に「日本の城ベストランキング200」の専門誌において第二十九位、「絶景！山城ベスト20」では堂々の第一位にランクインし、昨年十一月に

は、月間として過去最多の一万三千六百二十人の来場者数を記録しました。

苗木城は江戸時代の苗木藩の藩庁が置かれていた城です。築城は南北朝時代初めとも、戦国時代ともいわれています。往時は、壁の色から赤壁城とも呼ばれ、約一万石の小藩の城ながら山頂には二層の天守があつたといわれています。

城跡に現在、建物は残っていませんが、天守台、石垣、堀、曲輪などの遺構が残っています。特に自然の巨石を利用し取り込んだ石垣が見事で最大の特徴となっています。これは、敷地の確保が困難な状況にあつたため、建物の建築方法に懸

造り（崖や池などの上に建物を長い柱と貫で固定し、床下を支える建築方法）が使われているもので、自然の地形を最大限に利用した山城となつています。

山頂の巨石の上には天守展望台が



展望台からの絶景

ありますが、実際にあつた穴を利用し、当時の構造を再現したものです。展望台の眼下には木曾川が流れ、中津川市内と恵那山の眺めはまさに絶景です。

城跡から十分ほど歩くと「苗木さくら公園」があります。四月上旬に開催されるさくら祭りでは、ライトアップが行われ幻想的な雰囲気醸成した夜桜を散策できます。寒暖差のある秋から冬にかけては、早朝に雲海が広がる雄大な景色が望めることもあります。また、苗木城の入り口には中世から明治初期に至る歴史的な文化遺産を保存・

公開している苗木遠山史料館がありますので、こちらもお立ち寄りください。



苗木さくら公園の幻想的な夜桜



※写真は中津川市提供

◆アクセス

中央道中津川ICから車で二十分

また、官行造林地は郡上市和良町鹿倉地区や八百津町論出地区などがあり、管理面積が少ない割に点在しているため、広域的な管理

管内の国有林は、スギ、ヒノキを中心とした人工林が九五%を占めており、七宗町にある七宗国有林と東白川村にある越原国有林の二団地で、木材生産、森林育成を行っています。

七宗森林事務所は岐阜県加茂郡七宗町に所在しており、県中部にあたる飛騨川流域を管轄し、国有林野一、九一六号、官行造林地三三四号を、森林官、森林技術員、行政専門員の三名で管理しています。

【岐阜森林管理署 七宗森林事務所】

森林官 古田 誠



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



署の若手職員とくくり罠を設置

今、この地域を管理していく上で、問題になっているのはニホンジカによる森林被害です。被害の拡大を防ぐため、くくり罠を職員により設置し、地域の猟友会と連携しニホンジカの捕獲を実施しています。

種事業を行っています。

を必要とされていきます。業務も多岐にわたり、各種調査から林野巡視のほか、民



トラック運材等に支障になる灌木の除去

最後に、自分が森林官になって

作業ですが根気よく続けていきたく思います。

近年、野生動物の美食化が進んでいるとのことなので市街地への出没が増えるのが不安です。今後、調査結果によっては捕獲の取組の重要度が増していく

率的な捕獲ができることが期待されています。

特に、今年度は伐造一貫作業を実施した箇所を重点的に数十箇所



民有林関係者との捕獲技術検討



事務所玄関にて（中央が筆者）

生命と財産を守る森林の管理は大きなやりがいがあります。この森林を、皆さんともに未来に伝えましょう。

二〇一八年、昨年の漢字が「災」になりました。これからの林業はより防災対策が求められ、ますます多様な森づくりが重要となってきました。地域のニーズに

以降、森林技術員等が減少していき技術の継承等が喫緊の課題となっています。現場での作業同行を極力行うなどとして、少しでも国有林野事業推進のため経験を積んでいきたいと思えます。

発注者：飛騨森林管理署
現場は六十五年生のスギ・カラマツ人工林ですが、有用広葉樹が育成している箇所は保残にも留意して間伐を行い、多様な森林へ

■事業の概要
請負事業：森林環境保全整備事業（保育間伐活用型 飛騨9ウレ山）



作業現場の田上さん

有限会社 愛宝産業
田上 友紀子
（二〇一七年入社）



受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



グラップルを使って集材中

無線で連絡を取りながら連携して作業を進めていきますが、うまくいかない時もあります。作業者同士で知恵をだし合い試行錯誤を重ねながら改善点を見つけていきます。効率よく作業ができて順調に終わった時の達成感はひとしお

■現場での役割・魅力
現場では、二〜三人でチームを組んで作業し、スイングヤーダ、ウインチ付グラップルを使った集材作業やフォワーダの運搬作業をメインに担当しています。

誘導する施業も推進しています。また、根曲がり等で形質の悪い間伐木でも極力搬出し、需要の高まっているパルプ、バイオマス発電燃料材の生産に努め、資源の有効活用を図っています。

初めて現場を見学したときにチェーンソーとクサビを使って大きな木を倒す姿を見て度肝を抜かれました。指定した方向にしっかりと伐倒する技術、地面から伝わる地震と間違ふほどの振動。何もかもが新鮮で一気に惹かれてしまいました。私でもできるだろうかという不安もありましたが、いつか自分もあんな大きな木を倒してみ

です。チームワークがよいのも、同じ目的をもつて一緒に悩んで話し合う機会が多いからなのかな、と。街から離れた、自然の中での作業環境に置かれていて、人と環境のつながりの大切さを改めて感じています。

■森林・林業の世界に
入ったきっかけ
転職を考えていた時に林業をやっていた友人に誘われたのがきっかけです。体を動かすことが好きでしたし、前職の建設会社の作業環境と比べても、体力的に変えようとは思わず、環境を変えのりにちょうど良いかなといった感じでした。

■未来の担い手へのメッセージ
林業では体を動かす仕事が多いですが機械を使った仕事もたくさんあります。重機の操縦やトラックの運転など体力に自信がなくてもできる仕事も多いので、性別に関係無く活躍できます。



国体選考会：2月に国体出場予定

また、基本的な日が落ちる前には作業を終え帰路に就くので残業はありません。家での時間もしっかりと作れることも、この職場の魅力の一つだと思います。私はウィンタースポーツに打ち込める時間が作れて気に入っています。

たい。そう思うようになりました。そして、そうなれるように経験を積んでいきたいと思っています。

また、基本的な日が落ちる前には作業を終え帰路に就くので残業はありません。家での時間もしっかりと作れることも、この職場の魅力の一つだと思います。私はウィンタースポーツに打ち込める時間が作れて気に入っています。

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う森林土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



奥田工業 株式会社

中村 優なぐむら ゆう

(二〇一七年入社)



中村優さん（測量中）

■事業の概要

請負工事…長通川（シカクボ

沢）復旧治山工事

発注者…木曾森林管理署南木曾

支署



モルタル吹付の立合

本工事は、木曾川支流の長通川に合流するシカクボ沢源流より約三百以下流にある、平均河床勾配三二割、兩岸が角度四十度（四十五度と急勾配の山に囲まれた溪谷に、谷止工を施工する工事です。

当工事は、林道より六十以上も下に現場があるので、ケーブルクレーンを使用して重機を分解・搬送しました。また、作業地は、土砂崩落の危険な状態にあったため、法面に繊維モルタル吹付を行い、安全を確保してから作業に取りかかりました。

■現場での役割・魅力

私は監理技術者の補佐として、日々学びながら現場の事業を進めていきました。

現場の魅力は、何もない所から協力会社の人たちと一緒に造り上げて、目に見える変化があることです。

自分一人の力では決してやり通せる仕事ではないので、たくさんの人達と協力して何かを造り上げる達成感は大いにあると思います。また四季折々の景色を楽しめるので、自然が好きな人には魅力のある仕事だと思います。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私は高校を卒業したら大学に行かないで就職しようと思っていたので、色々な資格を取れる高校に行きました。そして、特にこの仕事やりたいたと強く思える仕事が多くなかなか見つからず、就職先を探しているときに周りからすすめられたということもあり、今の職場にいます。

■未来の担い手へのメッセージ

土木工事に対するイメージは、

自分が就職する前もそうでしたが、力仕事できついと正直思っていました。しかし、実際現場にたつて働いてみると、見たこともない重機やハイテクな機械などたくさんあつて、昔みたいにとても大変そうな職種というイメージは無くなりました。

また、毎回同じ工事内容という訳ではないので、飽きることなく新鮮な気持ちで仕事に望めると思っています。

少しでも興味を持ってくれたら是非会社見学に来てください！



出来形を確認中

中旬

⑨ 中旬 段戸湖ルアー・フライ釣場オーブン (愛知所設楽町)

段戸湖面が凍結するまでの約九ヶ月間、段戸裏谷の原生林に囲まれた中で、ルアー・フライが堪能できます。



⑩ 15日〜全日本ラリー選手権(第二戦) (愛知所 新城市)

日本最大級のラリーイベントが県営新城総合公園にて開催されます。迫力あるトッピーサーを間近で見ることが出来ます。

⑪ 16日〜17日 はと車カップGSSL大会及びディアヴァイセラウシユ大会

(北信署 野沢温泉村)

☆はと車カップGSSL (ジャイアントスラローム) 大会

ポールを滑り速さを競う競技スキーを気軽に体験。誰もが参加できるお客様スキー大会。

☆ディアヴァイセラウシユ大会

決められたルートに沿って山麓のゴールを目指す。山頂からいつきに滑り下りる爽快感が魅力。

下旬

⑫ 21日〜 ホタルイカの旬が到来 (ホタルイカ海上観光) (富山署 滑川市)



富山県屈指の漁獲量を誇る滑川漁港を、夜明け前に出港し、富山県ならではの定置網によるホタルイカ漁を観光船から見学。幻想的にきらめくホタルイカの神秘の光や漁師たちの漁の様子など、普段見ることができない貴重な体験ができます。三月二十一日〜五月六日開催予定。

⑬ 23日〜24日 南砺いのくち椿まつり (富山署 南砺市)

富山県南砺市に春の訪れを告げる「南

砺いのくち椿まつり」。毎年三月に開催されるこのまつりは、椿を題材に四季をうたったモニュメントや一輪挿し、椿の鉢植え・生花・椿をあしらった作品など、椿の魅力にあふれています。椿苗や椿グッズ等の販売も行われます。



⑭ 23日〜OSJ 新城トレイル

(愛知所 新城市)

県民の森「ニリトピア愛知」を起点とする山岳三コース(十一キロメートル、三十二キロメートル、六十四キロメートル)に分かれ、早春の山岳景観を楽しみながら制限時間内に走破します。体力に自信のある方は是非エントリーしてください。

⑮ 30日〜4月14日 あんずまつり

(北信署 千曲市)

日本一のおんずの里で知られる千曲市。里山地域全体が華やかな雰囲気になります。

編集長だより あなたの写真を！お待ちしております

☆ウインターシーズンも終盤に近づいてきました。スキーや冬のイベントは十分満喫できましたか。そろそろ南の方から春の足音が聴こえてくる季節になりました。

☆小さな春の足跡を見つけに野山へ出掛けてみてはいかがでしょうか。ステキな写真が撮れましたらmigoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

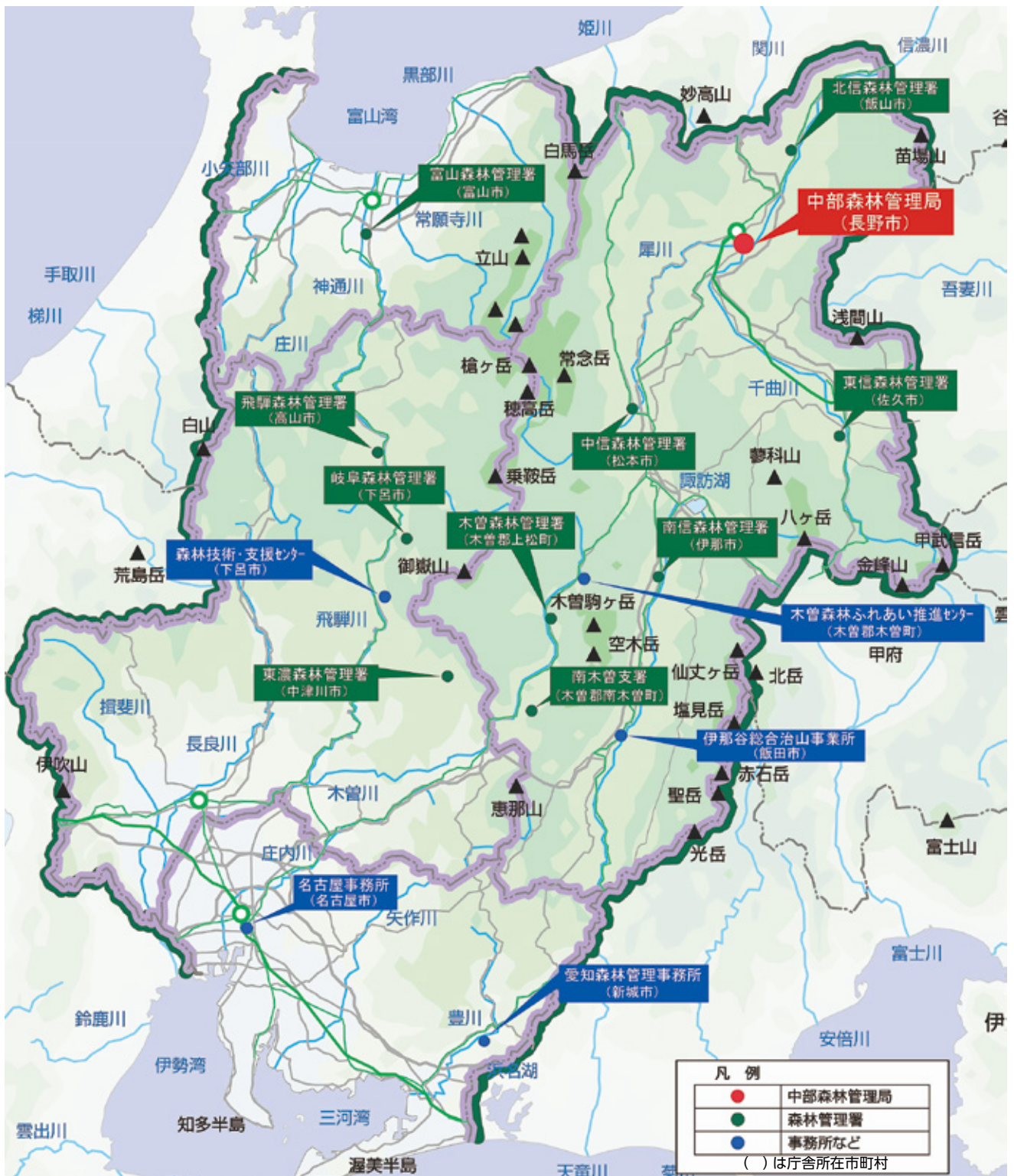
☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載紹介させていただきます。

あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。

ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(3月なら①〜⑮のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えて頂いても構いません

☆森林でのお仕事紹介コーナー、学生さんの進路検討の参考になると嬉しいです。

出前での就職説明会も出来ますので、お気軽に最終ページのお問合せ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6500 FAX 026-225-6112

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149